

法科大学院関係者各位

『法科大学院全国統一適性試験』の成績の利用について

1. 第1部～第3部の客観式（マークシート式）試験について

- ・受験者に対して、正答数（各部〔第1部～第3部〕別および3部合計）と等化済みのスコア（総合得点）を記載した「成績証明カード」（切取・剥離式：別紙1参照）を6枚提供いたします。
- ・受験者は、この「成績証明カード」を各法科大学院への出願書類に添付あるいは貼付します。
- ・法科大学院全国統一適性試験の第1部～第3部の成績については、この「成績証明カード」に記載している等化済みスコア（総合得点）を、入学者選抜にご利用ください。
- ・「成績証明カード」に記載される等化済スコア（総合得点）は、客観式試験である第1部～第3部正答数を各部ごとに等化した上で合計したものです。
- ・「成績証明カード」に記載されている各部ごとの正答数は等化手続きを経たものではありません。したがってこの各部ごとの正答数を入学者選抜に利用することは本試験結果の利用方法としては不適切となります。
- ・受験者に対しては、「成績証明カード」とともに、受験した回すべての各部〔第1部～第3部〕別正答数・3部合計正答数・等化済みスコア（総合得点）が記載された「成績通知書」（別紙2参照）を提供いたします。

2. 第4部の論述式試験について

- ・第4部（表現力を測る問題）については、採点基準を公開した上、採点については、その採点基準を用いるか独自の基準で採点するかどうかも含め、法科大学院に委ねられています。
- ・受験者には、厳封した第4部の解答用紙の写しを、3部提供いたします（別紙3参照）。なお、有償になりますが、受験生からの請求によりこの写しの追加提供も行っています。
- ・各法科大学院で第4部解答をどう扱うかについては、募集要項等で受験生向けに告知してください。

3. 両回受験者の成績の扱いについて

第1回と第2回の全国統一適性試験を両回ともに受験した者（両回受験者）の成績提供とその扱いは以下のとおりです。

- ・法科大学院全国統一適性試験は、第1部～第4部までを一体の試験として設計しています。
- ・第1回・第2回の両回とも受験した受験者につき、第1部から第3部の客観式試験の両回の等化済みのスコア（総合得点）を当委員会において比較し、そのうち高い方の受験回の正答数（各部〔第1部～第3部〕別および3部合計）と等化済みのスコア（総合得点）を「成績証明カード」に記載いたします。法科大学院への出願書類にはこの「成績証明カード」が添付あるいは貼付されることとなります。

- ・両回のスコア（総合得点）は、論理・分析・長文（第1部～第3部）の総合的なスコアであり、受験者の第1部～第3部の正答数得点をベースに年度内で等化されています。両回受験者の2回の受験結果を各部分ごとに比較して、各部分ごとの高い得点を組み合わせて入学試験判定に利用することは試験設計として予定されておりません。また、テストの設計上、年度をまたいでスコア（総合得点）を比較することはできません。
- ・両回受験者には、第1回と第2回のそれぞれの第4部の解答用紙の写しを3部ずつ厳封して提供いたします。
- ・第1部～第4部は一体のものとして扱っていただくのが本試験の設計に沿った扱いです。したがって、両回受験者については「成績証明カード」に記載されている受験回の成績、つまり2回の試験のうち等化済みスコア（総合得点）が高い方の回の第4部の解答用紙の写しを入学者選抜の資料としてご利用いただくことが、原則的な扱いとなります。

第1部～第3部の2回の試験結果を各部分ごとに比較し、各部分ごとに高い方の回の得点を組み合わせて利用することが不適切であると同様、第4部についてのみ、第1部～第3部と異なった回の解答用紙の写しを採用するのは、試験設計の観点から、さらには単一回受験者と両回受験者の間での公平性の観点から望ましくありません（ご参考：従前の法科大学院統一適性試験における第4部サンプル採点による得点は、第1部～第3部正答数との間に0.3以上の相関があります）。

ただし、第4部答案の採点は法科大学院に委ねられていることから、両回受験者につき、「成績証明カード」に記載されていない、つまり等化済みスコア（総合得点）の低かった方の受験回の第4部答案を入学者選抜の資料として、何らかの形で法科大学院が利用することを妨げるものではありません（上述のとおり両回受験者自身には、両回の第4部の解答用紙の写しを厳封して3部ずつ提供いたします）。

※両回受験者には、第1回と第2回で別の受験票・受験番号が付与されます。受験番号の前3桁には、第1回の試験については「011～181」、第2回の試験については「511～681」が付番されます。

4. 法科大学院からの成績提供請求について（下抜粋表ご参照）

- ・第1部～第3部の各部分別正答数・3部合計正答数・等化済みスコア（総合得点）については、「法科大学院全国統一適性試験 成績・表現力解答用紙請求シート1・2」によって、志願者全員の成績を一覧形式でご提供いたします。こちらは無料です。
- ・第4部の解答用紙の写しについても、「法科大学院全国統一適性試験 成績・表現力解答用紙請求シート1・2」によってご請求いただけます。ただし、こちらは1件あたり410円の実費を申し受けます。
- ・「法科大学院全国統一適性試験 成績・表現力解答用紙請求シート2」には法科大学院全国統一適性試験受験番号と氏名・生年月日をご記入ください。当該受験番号は、志願者より提出された「成績証明カード」に記載されています。

- ・両回受験者についても、法科大学院からの請求によってご提供する一覧形式の第1部～第3部成績・第4部表現力解答用紙写しは、「成績証明カード」に等化済みスコア（総合得点）が記載されている受験回のもののみとなります。
- ・「法科大学院全国統一適性試験 成績・表現力解答用紙請求シート」は、公益財団法人日弁連法務研究財団のホームページでダウンロードできます（<http://www.jlf.or.jp/>）。

法科大学院全国統一適性試験 成績・表現力解答用紙請求シート1（抜粋）

希望請求内容	1. 成績（第1部～第3部）	2. 表現力（第4部）解答用紙
希望媒体	1. CD-ROM	2. FD
希望納品方法	1. 各法科大学院へ郵送	2. 適性試験管理委員会事務局で手渡し

法科大学院全国統一適性試験 成績・表現力解答用紙請求シート2（抜粋）

受験番号	カナ氏名		生年月日			摘要
	姓	名	西暦年	月	日	
111L1111	ゼンコク	タロウ	1985	07	04	
521L2222	トウツ	アイ	1988	12	25	
531L1111	テケイ	ハコ	1987	03	28	
131L3333	シケン	ダイスケ	1989	01	15	

◆受験番号の表示について

- ・受験番号は、「受験票」「成績通知書」「成績証明カード」「第4部解答用紙（写）」において、「〇〇L-〇〇〇〇」（〇は数字）との桁数・形式で表示します（成績・表現力解答用紙請求シートに入力する場合、ハイフン（-）は不要です）。上記のとおり、受験番号の前3桁には、第1回の試験については「011～181」、第2回の試験については「511～681」が付番されます。

以上

お問い合わせ先

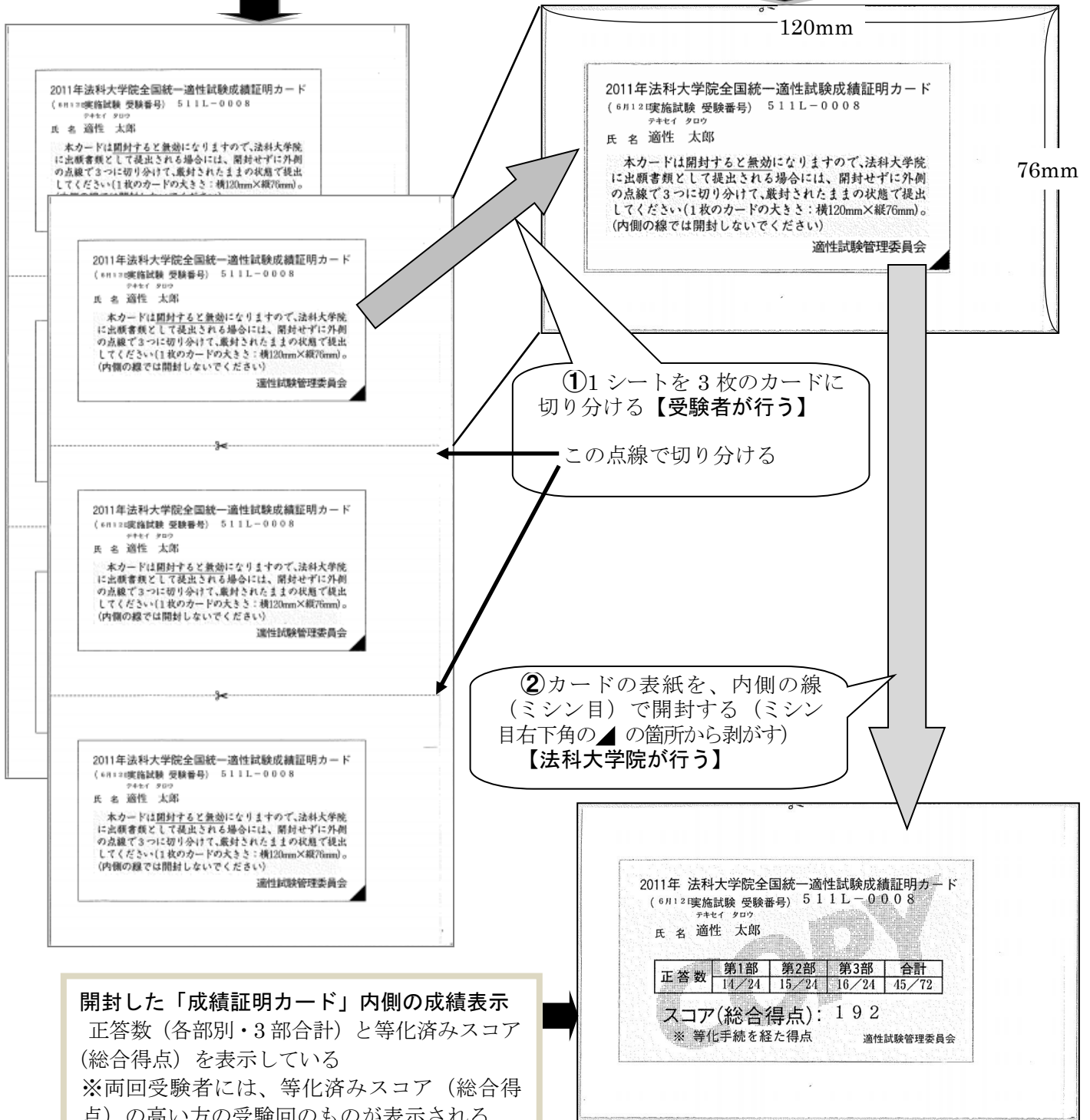
適性試験管理委員会事務局

TEL 03 (5614) 6286

別紙1 成績証明カードについて

受験者に送付する「成績証明カード」
1シート(成績証明カード3枚綴り)×2通
本シートを切り取り線で3枚に切り分けると、右の「成績証明カード」になる

1枚に切り分けられた「成績証明カード」
(1枚:横 120mm×縦 76mm)
この形で受験者から法科大学院に提出される



別紙2 成績通知書(A4×1通)

2011年法科大学院全国統一適性試験
成績通知書

フリガナ	テキセイ タロウ
氏名	適性 太郎
5月29日 受験番号	011L-0012
6月12日 受験番号	511L-0008

2011年5月29日・6月12日実施

「法科大学院全国統一適性試験」における
貴殿の成績を通知いたします。

2011年7月11日 適性試験管理委員会
委員長 鎌田 薫

試験成績

5月29日実施	正答数	順位(受験者 7,023名中)	平均正答数
第1部:論理的判断力を測る問題	12/24	4,052	13.5/24
第2部:分析的判断力を測る問題	14/24	3,831	14.3/24
第3部:長文読解力を測る問題	18/24	3,012	15.1/24
合計	44/72	3,986	42.9/72

※スコア(総合得点)①
188

6月12日実施	正答数	順位(受験者 5,872名中)	平均正答数
第1部:論理的判断力を測る問題	14/24	2,722	13.2/24
第2部:分析的判断力を測る問題	15/24	2,809	15.0/24
第3部:長文読解力を測る問題	16/24	2,057	13.5/24
合計	45/72	2,118	41.7/72

※スコア(総合得点)②
192

※スコア(総合得点)＝等化手続を経た得点
このスコア(総合得点)①②のうち高いスコアを、法科大学院提出用の成績カードに表示
している。

なお、全受験者のスコア(総合得点)分布等は、
(公財)日弁連法務研究財団のホームページで
公表しています。

<http://www.jlf.or.jp/>

(お問い合わせ先)
適性試験管理委員会事務局
〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町3-9-10
TEL 03-5614-6286
FAX 03-5643-7186

別紙3 第4部解答用紙(写)

厳密封筒(本写×3通)

受験番号	5	1	1	L	-	0	0	0	8
フリガナ	てきせい		たろう						
氏名	適性		太郎						

法科大学院協会
 (公財)日弁連法務研究財団
 (社)商事法務研究会
 適性試験管理委員会 実施

「2011年法科大学院全国統一適性試験」
 「第4部 表現力を測る問題 解答用紙(写)」
 在中

(2011年6月12日 実施試験)

開封無効

適性試験管理委員会 事務局

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-9-10 TEL 03(5614)6286
 茅場町プロードスクエア2F FAX 03(5643)7186
 URL <http://www.jif.or.jp/>

※上の窓付封筒の中に、下の解答用紙(写)が6つ折りで封入されている(受験番号と氏名が窓から見える)

第4部解答用紙(写) (A3版)

受験番号	5	1	1	L	-	0	0	0	8
フリガナ	てきせい		たろう						
氏名	適性		太郎						

1

5

10

15

20

25

30

35

40

45

50

55